



目次

- 1. 改訂情報
- 2. はじめに
 - 2.1. 本書の目的
 - 2.2. 前提条件
 - 2.3. 対象読者
 - 2.4. 用語解説
- 3. セットアップの流れ
- 4. IM-BPM の設定ファイル
- 5. テナント環境セットアップ
 - 5.1. テナント管理者によるIM-BPM for Accel Platformを利用するための設定
- 6. アップデート・パッチの適用
 - 6.1. アップデート
 - 6.2. パッチ
- 7. 付録
 - 7.1. IM-BPM Designerのセットアップ

改訂情報

変更年月日	変更内容
2016-08-01	初版
2016-10-01	第2版 下記を変更しました。 <ul style="list-style-type: none">▪ 「セットアップの流れ」にWebLogic向けのJava VM引数の追記についての説明を追加
2017-04-01	第3版 下記を追加しました。 <ul style="list-style-type: none">▪ 「アップデート・パッチの適用」を追加
2017-12-01	第4版 下記を追加しました。 <ul style="list-style-type: none">▪ 「IM-BPM for Accel Platform 2017 Summer(8.0.3) からアップデート」を追加
2018-04-01	第5版 下記を追加しました。 <ul style="list-style-type: none">▪ 「テナント管理者によるIM-BPM for Accel Platform を利用するための設定」を追加

はじめに

本書の目的

本書では IM-BPM for Accel Platform のセットアップ手順について説明します。

説明範囲は以下のとおりです。

- IM-BPM for Accel Platform の環境構築方法
- IM-BPM for Accel Platform の設定方法

前提条件

本書の説明を参照していただく上で、以下の前提条件を対象としています。

- リリースノートに記載されているシステム要件を満たしている必要があります。
詳細は「[リリースノート](#)」を参照してください。

対象読者

本書では次の利用者を対象としています。

- IM-BPM for Accel Platform を使用して、業務プロセスの効率化を実施したい運用者

用語解説

Resinをインストールしたディレクトリを%RESIN_HOME%と略します。

Apache HTTP Server をインストールしたディレクトリを%APACHE_HOME% と略します。

Storage として使用するディレクトリを%STORAGE_PATH%と略します。

PublicStorage として使用するディレクトリを%PUBLIC_STORAGE_PATH%と略します。

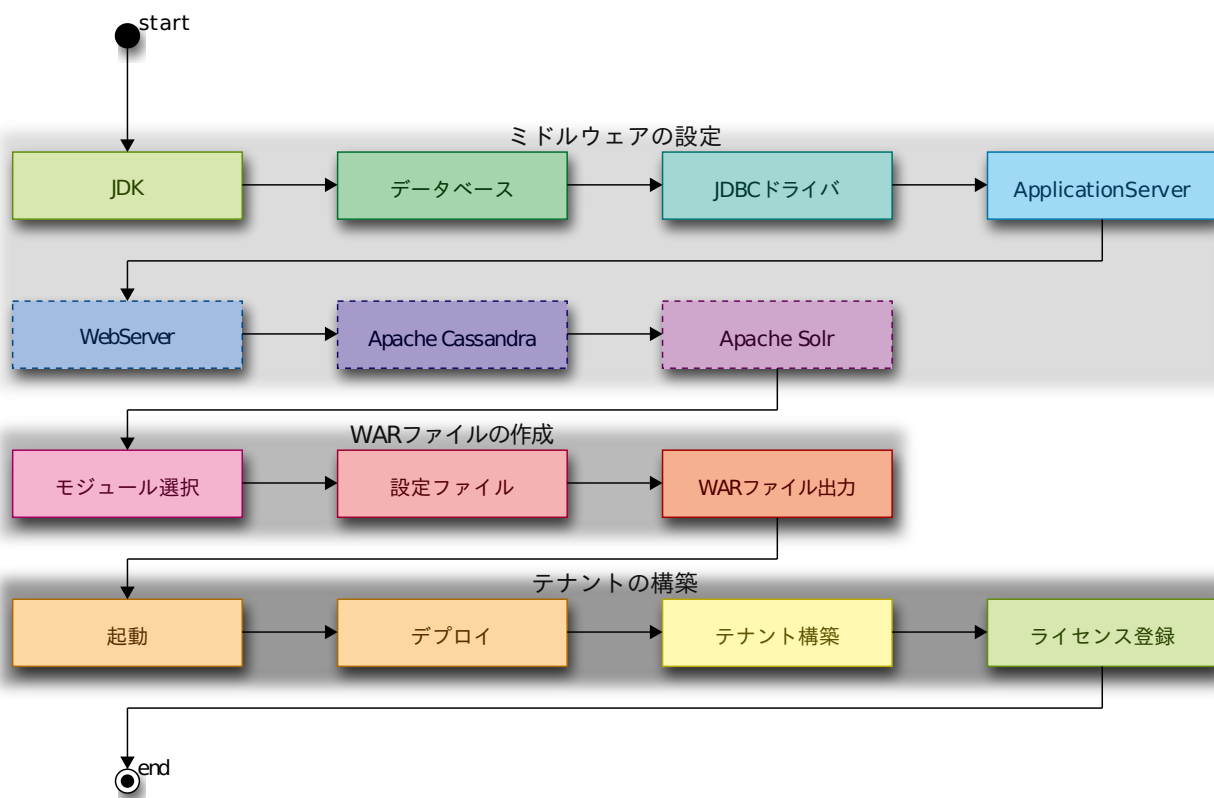
Webサーバ利用時の静的コンテンツを配置するディレクトリを%WEB_PATH%と略します。

セットアップの流れ

セットアップの流れは次の通りです。

各ステップごとのセットアップ手順は一覧のリンク先を参照してください。

- 凡例
 - 必須・・・セットアップが必要な項目です。
 - 任意・・・セットアップをスキップする事ができる項目です。



Name	Description
start	
JDK	JDK
データベース	データベース
JDBCドライバ	JDBCドライバ
ApplicationServer	Web Application Server
WebServer	Web Server
Apache Cassandra	Apache Cassandra
Apache Solr	Apache Solr
モジュール選択	プロジェクトの作成とモジュールの選択
設定ファイル	基盤の設定ファイル - IM-BPM の設定ファイル
WARファイル出力	WARファイルの出力

Name	Description
起動	Web Application Server の起動・停止
デプロイ	WARファイルのデプロイ
テナント構築	テナント環境セットアップ
ライセンス登録	ライセンスの登録
end	

コラム

WebLogicの場合は、Java VM引数に以下の設定を追記する必要があります。
 -Dsun.lang.ClassLoader.allowArraySyntax=true

Java VM引数の設定方法については、こちらを参照してください。
[「intra-mart Accel Platform セットアップガイド \(WebLogic編\) Java VM引数の設定」](#)

IM-BPM の設定ファイル

「[intra-mart Accel Platform セットアップガイド](#)」 - 「[アプリケーションの追加](#)」より、IM-BPM for Accel Platformモジュールを選択後、必要に応じて設定ファイルを編集します。

設定ファイルの詳細は「[IM-BPM 設定ファイルリファレンス](#)」を参照してください。

コラム

「ProjectNavigator」内のツリー上に設定ファイルがない場合

1. < (プロジェクト名) /juggling.im> ファイルをダブルクリックします。
2. 「設定ファイル」タブをクリックします。
3. 対象の設定ファイルを選択し、右側にある「出力」をクリックします。
4. 「ProjectNavigator」内のツリー上に表示されたファイルをダブルクリックして編集を行います。

テナント環境セットアップ

テナント環境セットアップについては、「[intra-mart Accel Platform セットアップガイド](#)」-「[テナント環境セットアップ](#)」を参照してください。

この項では、テナント環境セットアップ後に実施する設定内容について説明します。



注意

WARファイルに含まれているモジュールにより、テナント環境セットアップにて表示されるウィザードの順序が変わります。

テナント管理者によるIM-BPM for Accel Platformを利用するための設定

ワークフローパラメータの設定

- IM-Workflow連携機能を利用するためには、ワークフローパラメータを下記の内容に設定する必要があります。
 - ワークフローパラメータの詳細については、「[ワークフローパラメータを設定する](#)」を参照してください。

- メニューの「ワークフロー管理者」-「ワークフローパラメータ」をクリックします。
- 「param_group_%テナントID%.xml」で下記の通りに修正します。

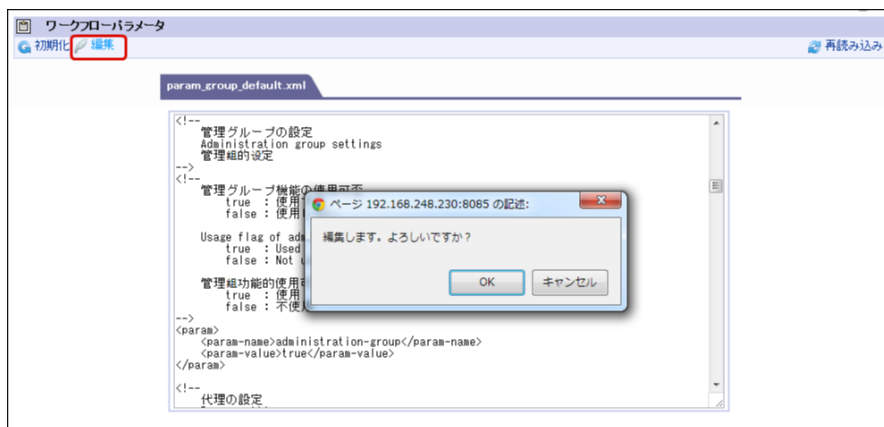
```
<param>
<param-name>delete-active-matter-type</param-name>
<param-value>java</param-value>
</param>
```



```
<param>
<param-name>delete-active-matter-listener-path</param-name>
<param-value>jp.co.intra_mart.activiti.workflow.plugin.BPMWorkflowActiveDeleteListener</param-value>
</param>
```



- 「編集」をクリックします。
確認ダイアログが表示されたら「OK」をクリックします。



アップデート・パッチの適用

- IM-Juggling を利用して最新モジュールを適用する事ができます。
詳細は、「[intra-mart Accel Platform セットアップガイド](#)」-「[アップデート パッチの適用](#)」を参照してください。

アップデート

- アップデートの適用は、「[intra-mart Accel Platform セットアップガイド](#)」-「[アップデートの適用](#)」を参照してください。
- IM-BPM for Accel Platform において、アップデート版を適用前に環境を構築している場合、個別作業が必要です。
詳細は、[設定ファイルの編集（アップデートによる設定項目のメンテナンス）](#)を参照してください。

パッチ

- パッチの適用は、「[intra-mart Accel Platform セットアップガイド](#)」-「[パッチの適用](#)」を参照してください。

付録

IM-BPM Designerのセットアップ

IM-BPM Designerのセットアップについては、「[IM-BPM Designer 操作ガイド](#)」 - 「[IM-BPM Designerのインストール](#)」を参照してください。